

深見神社

深見は布加美と訓べし、和名鈔、地名深見、假字上○祭神武甕槌命、地名○深見村に在す、同今鹿島大明神と稱す、例祭月日、○總國風土記八カ七十殘缺云、相摸國高座郡深見神社、或作深略天皇二十二年三月、所祭關籠也、

宇都母知神社

宇都母知は假字也○祭神稚産靈命風土○打戻村に在す、地名例祭月日、○惣國風土記七カ十殘缺云、相摸國高座郡宇都母知神社、圭田三十八畝三畝二字田、稚産靈命之御鎮坐也、雄略天皇三年己亥九月、官宣嚴重而始行祭禮、有神家巫戸等、

寒川神社 名神大

寒川は佐無加波と訓べし、和名鈔、地名寒川、假字上○祭神八幡大神、一宮○宮山村に在す、地名例祭月日、○當國一宮也、記○式三、臨時名神祭二百八十五座、中相摸國寒川神社一座、○惣國風土記八カ七十殘缺云、相摸國高座郡寒川神社、所祭菊理媛也、略雄略天皇十六年九月、初奉幣帛、古來俗之談莫、諺熊野多賀一則有此社、往昔東與之俗多諺、此社、○東鑑十二云、建久三年八月九日、早旦以後、御臺所、御産氣、云々、相摸國神社佛寺奉神馬、云々、一宮、佐河大明神

神位

續日本後紀、承和十三年九月丙午、奉授相摸國無位寒河神從五位下、文德實錄、齊衡元年

明治四年五月十四日被
列於國幣
中社
所在神奈川
縣相模國高
座郡寒川村
大字宮山
祭日九月二
十日

三月戊戌、加相摸國寒河神從四位下、三代實錄、貞觀十一年十一月十九日壬申、授相摸國從四位下寒川神從四位上、元慶八年九月廿一日戊寅、授相摸國從四位上寒河神正四位下、

社領

當代御朱印萬百石

有鹿神社

有鹿は阿里加と訓べし、和名鈔、地名有鹿、○祭神太玉命、風土○海老名郷に在す、地名例祭月日、○惣國風土記七カ七十殘缺云、相摸國高座郡有鹿神社、圭田五十七畝八毛田、所祭忌部氏之祖神太玉命也、天智天皇三年甲子夏五月、初行神禮、

神位

三代實錄、貞觀十一年十一月十九日壬申、授相摸國從五位下有鹿神從五位上、

石楯尾神社

石楯尾は伊波多天袁と訓べし、○祭神建南方命、事代主命、地名○座門郷鈴鹿村に在す、同例祭月日、

官社

文德實錄、天安元年五月丙辰、在相摸國從五位下石楯尾神預官社、

○附録